

通級指導教室のガイドブック他 リンク集

NPO法人 支援機器普及促進協会
理事長 高松 崇

小中学校

京都市立小学校・中学校・小中学校 LD 等通級指導教室

運営の手引き

京都市教育委員会

本手引き書では、子どもの課題解決のためのノウハウの実際が、具体的かつ多様に示され、さまざまな応用への手掛かりを与えています。本書が広く多くの場面で実践的で応用的に活用され、子どもを担当するすべての教師が子どもを正しく理解し、指導・支援が一層図られてこそ、本書の存在意義があります。是非とも手に取っていただき活用される事を願ってやみません。子どもたちの幸福のために。

★京都市限定公開

小中

初めて

通級による指導を担当する 教師のためのガイド

文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課

ガイドは初任の方を中心に、自らの指導の手引きとして、あるいは、校内研修の資料などとして多様に御活用いただくことを期待しています。

通常学級の担任のための

通級による指導 サポートブック

～通級による指導の充実のために～



平成 30 年 3 月

このサポートブックは、通級による指導を効果的に活用できるように、通常学級の担任の先生向けに編集したものです。

障害による困難を克服・改善し、児童生徒が自分の持てる力を十分発揮できるように、本書をご活用ください。

初めての通級指導教室担当者のための

「通級による指導」Q&A



 鹿児島県総合教育センター

小・中学校および義務教育学校

特別支援学級・通級指導教室

教育課程編成ガイドブック

令和2年(2020年)3月

滋賀県教育委員会

本県作成の「特別支援教育ガイドブック」のうち、小学校・中学校および義務教育学校 特別支援学級・通級指導教室における教育課程編成に関わる内容を取りあげて見直しを行い、『小・中学校および義務教育学校 特別支援学級・通級指導教室教育課程編成ガイドブック』として作成しました。本ガイドブックが、特別支援学級や通級指導教室における教育課程編成に活用されることを願っています。

小中

すべての子どもたちの
学びをささえるために…

教職員のための

「通級による指導」ガイドブック 2

～ 通級による指導と通常の学級との連携 ～

山梨県教育委員会
平成30年3月

小中

特別支援学級担任及び 通級による指導担当教員の ためのハンドブック

～一人一人の子供の確かな学びと自立の実現のために～




平成29年3月
熊本県教育委員会

本ハンドブックが児童生徒の実態把握、学級運営、授業づくり、諸研修などにおいて活用されることで、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援が行われ、特別支援学級並びに通級による指導において一層の指導支援の充実が図られることを期待しています。

小中

令和4年度
通級による指導及び
特別支援学級の
教育課程編成の手引
(小学校・中学校用)

 長崎県教育委員会

小中

学校保存版

「チーム学校」として取り組むための

通級による指導 ガイドブック

平成30年3月
愛媛県教育委員会

愛媛県イメージアップ
キャラクター
「みきやん」



「特別支援学級・通級による指導ガイドブック（愛媛県教育委員会）」の中から、「通級による指導」に関して、制度改正及び状況変化を踏まえ、内容の見直しを図るとともに、通級による指導担当教員のみならず、「チームとしての学校」の視点から通級による指導がなされるよう、まとめたものであります。

本冊子が、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する適切な指導・支援のための指針となり、特別支援教育のさらなる充実につながることを願っております。

小中

通級による指導の 充実をめざして



徳島県立総合教育センター

通級による指導 ハンドブック



徳島県立総合教育センター

「通級による指導ハンドブック」を作成しました。
本ハンドブックは、特別支援教育の動向、通級による指導の制度や運営に関する内容、具体的な実践事例などについてまとめています。
今後、本ハンドブックの活用により、通級による指導の発展・充実、並びに、困難さを抱える児童生徒の主体的・対話的で深い学びの推進につながることを切に願います。

すべての教員のための
『特別支援教育入門ガイドブック』

平成17年3月



小・中学校の教員からは、LD・ADHD・高機能自閉症等の児童生徒の実態に応じた具体的な指導の手だてに関する情報の提供が求められています。そこで、これらの児童生徒の「学習上気になる具体的な子ども像（行動例）」を取り上げて、その行動の背景を考え、実際的な支援・方法を提案する指導資料を作成しました。

奈良県の通級の先生と共に

子どもの学びに活かす ハンドブック



奈良県立教育研究所

通級担当教員だけでなく、通常の学級担任、特別支援教育コーディネーターにも活用していただきたいと考えています。また、通常の学級には、通級による指導を受けてはいませんが支援や配慮を必要としている子どもたちも在籍しています。一人一人の子どもの教育的ニーズに気付き、支えるためにも多くの先生方に参考にしていただけると幸いです。

小中

通級指導教室の 利用ガイド

～通級指導教室との連携について～



このガイドは、小学校や中学校が地域の通級指導教室と連携協力することにより、特別支援教育に係る校内支援体制を充実させるためにまとめたものです。

平成24年4月
秋田県教育委員会

このガイドは、小学校や中学校が地域の通級指導教室と連携協力することにより、特別支援教育に係る校内支援体制を充実させるためにまとめたものです。

通級による指導 ハンドブック



平成 28 年 3 月

長野県教育委員会

本書は、「通級による指導」の担当者はもちろん、保護者や在籍学級の担任，特別支援教育コーディネーター，教育委員会の担当者等、「通級による指導』に関わるすべての人たちの理解がさらに深まり、「通級による指導』を受けている子どもたちの力が今まで以上に伸びることを願って作成されました。

特別な教育的ニーズのある子どもたちがいるすべての教育現場において、本書が活用され、「通級による指導」を今まで以上に充実させるための一助となれば幸いです。

発達障害を対象とした通級指導教室の

スタートブック



静岡県総合教育センター

本冊子は、発達障害を対象とした通級指導教室担当者の皆さんの専門性の確保や指導力の向上はもとより、これから通級による指導の導入が進む高等学校においても役立つ内容となっています。特別支援教育が、全ての学校において、特別ではない当たり前の教育 となっていく一助に、本冊子が少しでも役立つことを願っています。

通級による指導ハンドブック

～通級担当の1年間～

通級指導教室の
教室経営や
授業づくりの
ポイントが分かる！



福岡県教育センター
平成26年3月

この『通級による指導ハンドブック～通級担当の1年間～』は、1年間の業務を見通し、児童生徒への指導がより充実することを目指しています。そのために、「教室経営及び指導上の留意点」「学校の支援体制及び連携」について、Q&A形式でまとめました。本ハンドブックが各学校で積極的に活用され、通級による指導のより一層の充実を図る一助となれば幸いです。

特別支援教育 ハンドブック

特別支援学校・特別支援学級 教育課程編成の手引
通級による指導の手引
通常の学級における特別支援教育推進の手引



平成23年3月

島根県教育委員会

特別支援学校及び特別支援学級の教育課程の編成等、通級指導教室における指導等、小学校、中学校の通常の学級及び高等学校における特別支援教育の推進等の内容についてまとめた、「特別支援教育ハンドブック」を作成し、県内の各学校に配布することで特別支援教育のさらなる理解と推進を図ることとしました。

通級による指導

通級による指導とは

通常の学級に在籍する児童生徒のうち、障害の特性に応じた支援が必要な児童生徒が、各教科等の大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について、障害に応じた特別の指導を「通級指導教室」といった特別な場で受ける指導形態です。



● 通級による指導の対象

言語障害、自閉症、情緒障害、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、弱視、難聴、肢体不自由、病弱及び身体虚弱の児童生徒で、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のものです。

● 実施形態

富山県では、児童生徒が在籍する学校において指導を受ける「本校通級」と、他の学校の通級指導教室に通って指導を受ける「他校通級」があります。弱視及び難聴の児童生徒については、特別支援学校(富山視覚総合支援学校、富山・高岡聴覚総合支援学校)で通級による指導を行っています。

● 指導の内容

障害による学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服することを目的とする指導(自立活動)を、在籍する学校の教育課程に加え、又はその一部に替えるなど特別の教育課程を編成して行います。特に必要があるときは、障害の状態に応じて各教科の内容を取り扱いながら行うことができます。

● 指導時数

年間35単位時間から280単位時間まで(週1から週8単位時間)、LD及びADHDの児童生徒は、年間10単位時間から280単位時間までを標準としています。

小中

市川市版

通級指導教室 ハンドブック



市川市教育委員会

平成31年3月

すべての子どもたちは、様々な個性と可能性を持っています。

その個性と可能性を生かし、子どもたちが「自分らしく」学び「自分らしく」社会参加をしていくために、そして、様々な人々が個性を認め合い、生き生きと活躍できる共生社会の実現を目指して、特別支援教育を推進していきます。

中学校

中学校



通級指導教室 サポートパック

- 中学校における通級による指導の充実を目指して -

TOP 1 知識・概論編 2 運営編 3 実践編 4 様式・資料集 5 校内研修編 研究報告書/参考文献

通級による指導

自立活動の指導

全教職員の連携

わかる

できる

つながる

自分の長所・特性

自分に合った方法

学びが通常の学級に



TOP

知識・概論編

運営編

実践編

様式・資料集

校内研修編

研究報告書/参考文献

「通級指導教室サポートパック」について

通級指導教室サポートパックは、中学校における通級による指導の充実を目指し、

初めて通級による指導の担当となった先生をサポートするために作成しました。

多くの先生方に活用していただければ幸いです。

通級による指導
について学びたい

知識・概論編

通級による指導に関する、基本的な事例についてまとめています。

通級指導教室の
運営や連携の仕方
について知りたい

運営編

通級指導教室の運営や各種連携の在り方について提案しています。

宮城県総合教育センター

通級指導教室サポートパックは、中学校における通級による指導の充実を目指し、

初めて通級による指導の担当となった先生をサポートするために作成しました。

多くの先生方に活用していただければ幸いです。

高等学校

基幹研究

(発達・情緒班)

発達障害等のある生徒の実態に応じた
高等学校における通級による指導の在り方
に関する研究

—導入段階における課題の検討—

(平成28年度～29年度)

研究成果報告書

平成30年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

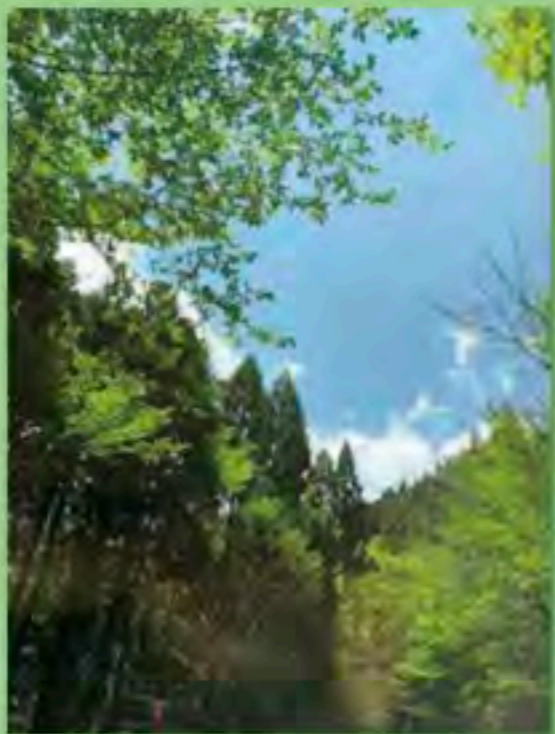
本研究において高等学校
段階における発達障害等のある生
徒の自立活動の内容・方法等につ
いて検討し提案するこ
とは、高等学校における発達障害
等のある生徒への合理的配慮につ
いての知見を提供し、
インクルーシブ教育システムの構
築・充実にも寄与するものとなる
と考えている。

高等学校等における
「通級による指導」ガイドブック

令和2年（2020年）3月
山口県教育委員会

高校

高等学校における通級による指導 ガイドブック・実践事例集



高知県教育委員会
令和4年3月

今回、これまでの取組を実践事例集としてまとめるとともに、高等学校における通級による指導のノウハウをガイドブックとして編集し、冊子を作成しました。

本冊子が、これらの課題解決に向けた支援資料の一つとして活用され、今後の通級による指導の更なる充実はもちろんのこと、高等学校における特別支援教育の充実に向けた取組の一助となりますことを願っています。

高校

令和2年度文部科学省委託事業
発達障害に関する教職員の理解啓発・専門性向上事業

通級指導実践事例集

高校 等学 における

通級 による指導

令和3年3月
兵庫県教育委員会

高等学校における通級による指導
についての理解啓発が図られるこ
とはもとより、高等学校における
特別支援教育の一層の充実が図ら
れることを期待します。

大阪府立高等学校における 通級による指導

令和4年度から新たに6校に『通級指導教室』
を設置し、10校の府立高等学校で通級による指導
を行います



©2014 大阪府教育委員会



大阪府立高等学校における通級による指導は、発達障がいや、
その特性のある生徒を対象とし、自校通級を基本としています

通級による指導とは？

高等学校の通常の学級に在籍している障がいのある生徒に対して、各教科等の大部分の授業を
通常の学級で行いながら、一部の授業について当該生徒の障がいに応じた特別の指導を特別の場
で行う指導形態のことです

高等学校における
通級による指導
スタートブック

平成31(2019)年3月

岡山県教育庁特別支援教育課

本テキストは、高等学校における通級による指導や特別支援教育の充実について、県内の高等学校の先生方とともに考えていくため、通級指導実施校の先生方に御協力いただき作成したものです。

教育課程編成の手引き

～通級による指導【高校】編～

令和2年3月

島根県教育委員会

その他

発達特性等によって困りのある中高生のための

指導・支援ガイド

(第2版)

一人一人の教育ニーズに応じた
切れ目のない支援のために



京都市教育委員会
支援が必要な子どもプロジェクトチーム

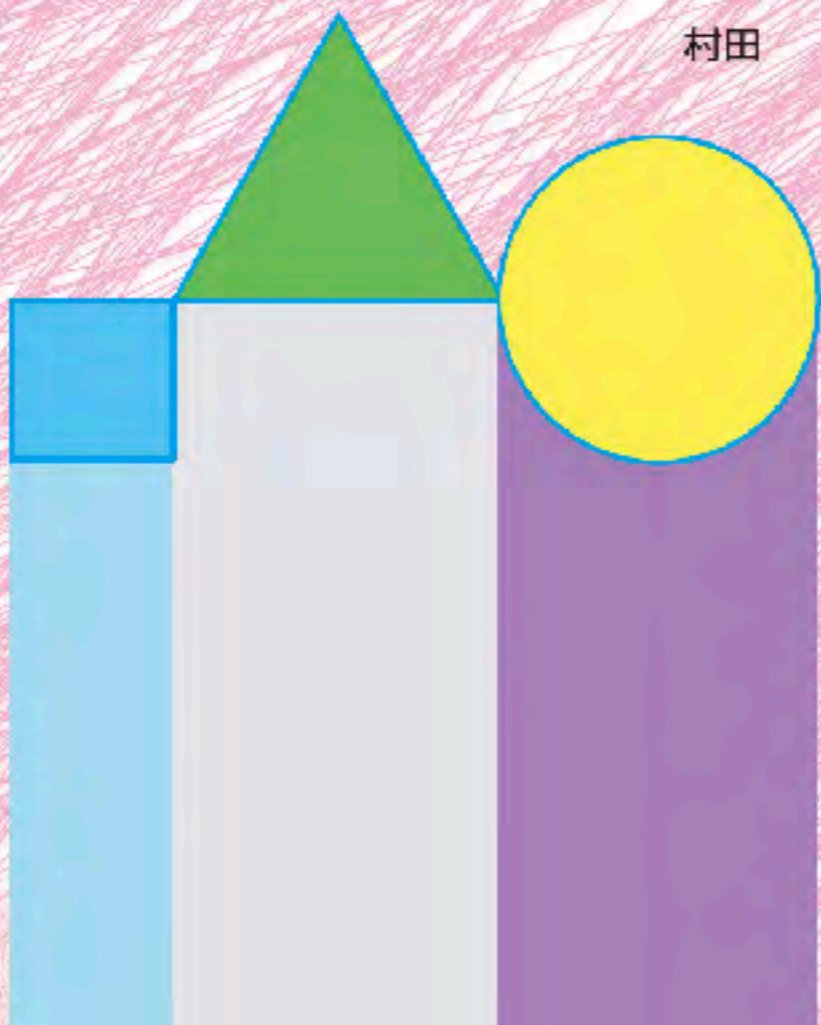
指導・支援の根拠となる障害者差別解消法や発達障害についての基本的事項、さらに教育のユニバーサルデザイン化についての取組や、高等学校における通級による指導の制度化についても新たに記載し、学校生活に悩んでいる生徒に対する支援についてわかりやすく、具体的に活用できるガイドブックになっています。一人一人の生徒が「どこでつまづいているのか」を理解することが、ガイドブックにある適切な工夫と配慮につながると確信しています。

★京都市限定公開

「困りのある」生徒への具体的支援

ヒントブック

監修 小谷 裕実
村田 淳



この冊子は、「学習や学校生活の中で困りのある生徒の高校生活を応援したい」との京都市立高等学校教職員の思いを受け、生徒への日々の指導・支援の際のヒントとしていただくために作成しました。

★京都市限定公開

小学校 UDチェック表

授業・学級・学校づくりのユニバーサルデザインチェック表 ＜小学校版の目的と活用について＞

どの学校、どの学級にも学習に困りを抱えている児童が当たり前にいる状況の中で、それらの児童にとって分かりやすいことはもちろん、どの児童にとっても分かりやすい授業づくりを目指して、日々の授業の中で取り組んでいただけるような様々な【工夫】や【ヒント】をまとめています。

個別の指導計画の作成はもとより、教職員が自分の授業を振り返り、学級経営や授業を見直す際に活用してください。また、学校全体での共通理解や授業改善の取組を行っていく際、総合育成支援員などとの共通理解や連携を行う際、合理的配慮につながる支援や配慮について、中学校に伝えていく内容を整理し明確にしていく際などにも活用してください。

なお、こうしたユニバーサルデザインの考え方だけでは十分な支援ができない場合、通級指導などの個別の支援が必要となります。

①自分の取組の振り返りとして使用	項目に沿って、セルフチェックする。 自分の思っているような環境整備や授業の進め方ができているかを確認する。
②学級経営や授業を見直したいと思ったときに活用	項目に沿って、セルフチェックする。 不十分な部分を確認し、改善できる所を探す。 1～2週間後、もう一度セルフチェックして、改善できているかを確認する。 できれば、第3者にもチェックしてもらい、客観的に確認する。 各学年の発達段階に合わせて、学力向上を目指すという視点から確認する。
③自分の取組の確認を、第3者と共有するときに活用	項目に沿って、セルフチェック。第3者にも同時にチェックしてもらおう。 自己評価と他者評価のズレがないかを確認し、今後の取組にいかしていく。
④学校全体・学年の取組に活用	学校全体・学年で重点的に取り組む項目を共通理解する。 学校全体・学年で統一した取組を進める。 学校全体で、日常的な学校での取組が中学校入学後の合理的配慮につながることを共通理解する。
⑤進学先への引き継ぎに活用	合理的配慮につながる必要な支援や配慮の内容、方法については、総合育成支援教育委員会等で客観的に確認し、共通理解する。個別の指導計画にも記載しておく。

どの学校、どの学級にも学習に困りを抱えている児童生徒が当たり前にいる状況の中で、それらの児童生徒にとって分かりやすいことはもちろん、どの児童生徒にとっても分かりやすい授業づくりを目指して、日々の授業の中で取り組んでいただける様々な工夫やヒントをまとめています。
ぜひとも御活用ください。

★京都市限定公開

<http://web.edu.city.kyoto.jp/sogoikusei/2-4yunibasaru.html>

子どもの行動の理解と 支援のために

～一人一人を大切に～

京都市特別支援教育専門家会議

特別支援教育を必要とする子どもたちの悩みはさまざまです。本冊子を参考とされ、創造性豊かな支援対応をしていただければと、子どもたちのこうした悩みに、応えていただくことができると思っています。本冊子がヒントになり、子どもたちの笑顔が先生方の目の前に現れることを願っています。そして、「教師をしていてよかったなあ。」と思っていたただいた先生が一人でも多くなることを願ってやみません。

★京都市限定公開

簡単気づき&手立て

読むこと・書くことが苦手な子どもの
指導と支援チャート
「そうか!」チャート

読むこと・書くことの困難は特性であって、
子どもの理解や能力とは異なります。
このサイトはそういった子どもを指導する先生方のために、
アプローチ法と指導についての情報をご提供します。



はじめに

読み書きの困難は、児童・生徒それぞれの特性であって、理解や能力とは異なります。この事を担当される児童・生徒に正しく自己理解をさせるとし、個別指導を進める前に、学ぶ意欲を損なわないように意識を高める事から開始していただければと思います。

また、指導を進める上で、支援があるのとやりとげるのとが異なる事を重視して、分量や課題の調整をして進めて下さい。

また、児童・生徒の困難との自己申告は素直に表出されない場合があります。スモールステップでのできる体験から導入を行うことには特に留意してください。

「そうか!」チャートは、井上壽子先生(松江市立豊東小学校)、杉本陽子先生(飯塚市立飯塚小学校)、佐藤里美協力研究員(東京大学先端科学技術研究センター)と共同開発されました。



「そうか!」チャートでは、一定期間実践してから効果を検証し、
アセスメントを見直していくことを推奨しています。
常に子ども達の姿に戻りながら、「この方法はこの子にとって有効か」
を考えて柔軟に手立てを検討していくことで、きっとその子にとっての
「学びやすさ」が見えてくるとおもいます。

教員がいいと思う一つの方法(教え方)はただならず、
このチャートでいろいろな手立てを試してみてください。
そしてどうか子どもにとって「わかる方法」や「学びやすい
方法」を見つけあげてくださいね。



目の前の生徒さんの読み、書きの課題どこから手をつけようかと
迷われたときには、まず読みからスタートしましょう。読めることで、
書きの負担もいやすくなります。

ご利用にあたって：P3 (必ずお読みください) 各ページには「しおり」から右ジャンプできます

読むこと・書くことが苦手な子どもの
指導と支援チャート「そうか!」
チャート
読むこと・書くことの困難は特性で
あって、子どもの理解や能力とは異
なります。このサイトは、そういつ
た子どもを指導する先生方のため
に、アプローチ法と指導についての
情報をご提供します。

ディスレキシア&アセスメント

「読み」や「書き」に困難さがある
児童生徒に対する
アセスメント・指導・支援パッケージ



令和 2 年 3 月

【第 2 版】

福井県特別支援教育センター



福井県特別支援教育センターでは、子どもたちの読みや書きの困難さのアプローチと共に、どのようにしたら、あるいは何を補えば授業や活動への参加状況を高めることができるのか、「読みたい」「書きたい」

「できるようにになりたい」という子どもの気持ちに寄り添い、学習意欲を支えながらどのように学びを保障できるのかと考えてきました。さらに、子どもたちの言語活動全体を高める活動の積み重ねも必要であると思っています。

『読めた』『わかった』『できた』

読み書きアセスメント



活用&支援マニュアル

東京都教育委員会は、平成28年2月に策定した、「東京都発達障害教育推進計画」に基づき、小学校における学習の「つよさき」を把握するアセスメント方法の開発に取り組んできました。

発達障害のある児童に対して、適切な指導・支援を実施するためには、児童一人一人の実態を適切に把握することが重要です。

本冊子は「通常の学級における支援」と「通級による指導における支援」の二部構成になっており、それぞれ「学習場面における行動」と「読み書き」に関するアセスメント、及びアセスメントの結果を踏まえた支援方法や学習支援教材を紹介しています。

なお、本冊子にはアセスメント結果を集計できるソフトと読み書きスキルを学習するための支援教材が入ったCDを付けています。この他、本冊子を有効に活用していただくための「読み書きアセスメントDVD」を作成いたしておりますので併せて御覧いただき、児童一人一人に応じた指導の充実を図られようようお願い申し上げます。

重要：本冊子は、児童の学習の「つよさき」の把握を支援するためのものです。アセスメント結果により、障害の有無を判断することはできません。

また、アセスメント結果の取り扱いも、各学校等で定められた個人情報取り扱いに関する規定等に従い、個人情報の保護を厳格に行ってください。

平成29年3月

東京都教育委員会



本冊子は「通常の学級で活用するアセスメントと支援」と「通級による指導で活用するアセスメントと支援」の二部構成になっており、それぞれ「学校で見られる行動」と「読み書き」に関するアセスメント、及びアセスメントの結果を踏まえた支援方法や学習支援教材を紹介しています。

なお、本冊子にはアセスメント結果を集計し、生徒の実態を多角的に把握できるソフトと読み書きスキルを学習するための支援教材が入ったCDを付けています。

ディスレキシア&アセスメント

「読めた」「わかった」「できた」

読み書きアセスメント

～中学校版～



活用&支援マニュアル編

東京都教育委員会は、平成28年2月に策定した、「東京都発達障害教育推進計画」に基づき、小学校における学習の「つまずき」を把握するアセスメント方法を平成28年度に開発いたしました。

これを踏まえ、平成29年度は中学校版の開発を進めてまいりました。中学校では、学習内容がより高度になるため、新たな困難が生じる可能性があります。

発達障害のある生徒一人一人の、小学生とは異なる実態を適切に把握し、指導・支援していくことが重要です。

本冊子は「通常の学級で活用するアセスメントと支援」と「通級による指導で活用するアセスメントと支援」の二部構成になっており、それぞれ「学校で見られる行動」と「読み書き」に関するアセスメント、及びアセスメントの結果を踏まえた支援方法や学習支援教材を紹介しています。

なお、本冊子にはアセスメント結果を集計し、生徒の実態を多角的に把握できるソフトと読み書きスキルを学習するための支援教材が入ったCDを付けています。その他、本冊子を有効に活用していただくための「読み書きアセスメントDVD」及び、冊子「個別指導事例集編」を併せて御活用いただき、生徒一人一人に応じた指導の充実を図られますようお願い申し上げます。

【重要】 本冊子は、生徒の学習の「つまずき」の状況を把握し、支援するためのもので、アセスメント結果により、障害の有無を判断することはできません。

また、アセスメント結果の取り扱い、各学校等で定められた個人情報取り扱いに関する規定等に従い、個人情報の保護を厳格に行ってください。

平成30年3月

東京都教育委員会



本冊子は「通常の学級で活用するアセスメントと支援」と「通級による指導で活用するアセスメントと支援」の二部構成になっており、それぞれ「学校で見られる行動」と「読み書き」に関するアセスメント、及びアセスメントの結果を踏まえた支援方法や学習支援教材を紹介しています。

なお、本冊子にはアセスメント結果を集計し、生徒の実態を多角的に把握できるソフトと読み書きスキルを学習するための支援教材が入ったCDを付けています。


子供のために

先生が気づいて動ける チェックリスト



活用すると

- 子供の困難や特性を捉え、教育的ニーズを把握することができます
- 子供が安心できる環境を早期に整えることができます
- 本人の強みを意識した指導・支援の方向や内容が明確になります
- 「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成に役立ちます

 富山県教育委員会

この「子供のために先生が気づいて動けるチェックリスト」は、子供たちの実態を早期に把握し、本人の強みを生かした適切な支援を行うために作成しました。本チェックリストの活用が、子供たちと先生方の笑顔につながることを願っています

ICTを活用した個に応じた指導法の研究
～合理的配慮の提供の推進を目指して～

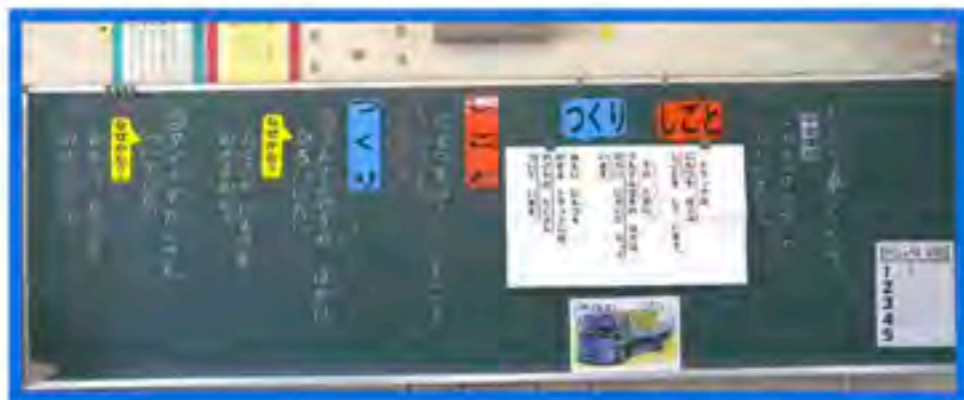
通級指導教室における
読み書きに困難のある児童生徒へのICT活用
研究報告

平成28年度京都府総合教育センター特別支援教育部
研究プロジェクト

京都府総合教育センターでは、合理的配慮提供の推進に向け、読み書きに困難のある児童生徒を対象に、通級指導教室におけるICT活用の実践研究に取り組むこととしました。

本研究は、読み書きに困難のある児童生徒の、もてる力の発揮や生き生きとした学びを目指すICTの活用を検討し、合理的配慮の提供における先行事例の発信と教員の資質向上を目的としました。

ユニバーサルデザインの 考えを取り入れた 授業づくりガイドブック



平成31年4月
さいたま市教育委員会



このガイドブックは、全ての児童生徒にとって分かりやすい授業づくりを推進するために、さいたま市独自で作成したものであり、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくり・学級づくりを進める上での参考となる実践事例集となっています。

本ガイドブックを、通常の学級の教員だけでなく全職員に活用していただき、子ども一人ひとりが「分かる、できた、楽しい」と感じられる授業が展開されることを期待しています。

すべての子どもが「分かる」「できる」 授業づくりガイドブック

～ユニバーサルデザインに基づく、
発達障害の子どもだけでなく、すべての子どもにあると有効な支援～



高知県教育委員会
平成25年3月

誰にとっても分かりやすく、学びやすい授業づくりを推進することは、発達障害等のある子どもはもとより、すべての子どもにとって授業場面での「満足感」や「達成感」を与え、学習意欲の増進につながります。

これらの取組を推進することにより、学力問題や不登校、中途退学などの課題の解決に大いに資すると考えられます。

ユニバーサルデザイン授業

～発達障害等のある子どもを含めて、どの子にもわかりやすい授業～

I 研究の趣旨および目的

II 教育・学習におけるユニバーサルデザイン

III 授業の実践

- 1 雀部小学校の実践
- 2 梅美台小学校の実践

IV 研究のまとめ

- 1 アセスメント
- 2 授業づくり
- 3 授業を支えるもの
- 4 教師の指導力・授業力の向上

資料 ユニバーサルデザイン授業
の指導案づくりの手引き



「ユニバーサルデザイン授業」という考え方や手法を取り入れることで、「すべての子どもがわかる・できる」授業づくりが進み、すべての学校において特別支援教育がさらに推進されることを期待しています。

子どもたちの「わかった」「できた」を増やそう！

特別支援教育の視点を生かした 授業づくりヒント集



平成31年(2019年)3月
滋賀県教育委員会

研究モデル地域の通常の学級における教科指導(小・中学校「国語科」・小学校「算数科」)の実践を中心にまとめた研究成果物です。教育上特別な支援を必要とする児童生徒に見られる「困難さ」に対して、「授業における工夫」と一斉指導中に行う「個に応じた手立て」を提示するように努めました。本事例集を、通常の学級における特別な支援の必要な児童生徒に対しての指導や支援に、少しでも役立てていただければ幸いです。

学びのUD化チェックリスト

チェック数

No.	意欲や成長を促す言葉かけ	チェック
1	長所やできていることを認め、ほめ、はげます言葉かけをしている	
2	望ましい行動を子供自身に意欲づけられるような言葉かけをしている	
3	行動の背景や理由を子供に問いかけたり、教師自身で考えたり、理解した上で指示や言葉かけをしている	
No.	指示の伝え方	チェック
4	簡潔で分かりやすく、ゆっくり、はっきり短い言葉で指示したり話したりしている（「1つめは～です」「2つめは～です」等）	
5	一つの指示に対して一つの行動ができるように指示している（聞くとき、書くときを明確にする）	
6	曖昧な言葉を使わず、具体的な言葉で指示するようにしている	
7	複数の指示をするときは、視覚的にも分かるように指示している	
8	否定、命令、禁止の言葉ではなく、肯定的で次の行動につながる言葉かけをしている（「～しない」「～なさい」より「～しよう」等）	
No.	ルール作り	チェック
9	給食や掃除のきまり、学校生活や授業において守るべきルール等を明確に示している	
10	整理整頓の仕方を決めて指導している	
No.	掲示	チェック
11	教室の前面は必要なもののみ掲示している	
12	1日や1週間の予定を見やすく掲示している	
13	急な予定変更は早めに、視覚的に分かりやすく示している	
No.	肯定的な人間関係づくり	チェック
14	一人一人が活躍したり、認められたりする場をつくっている	
15	一人一人の個性や違いを認め合える雰囲気や、分からないことや間違いを否定的に見ない雰囲気を作るようにしている	
16	教師自身が、特別な支援が必要な子供に対するかかわり方のモデルを示している	
No.	授業の流れ	チェック
17	チャイムと共に始まり、チャイムと共に終わる授業を心がけている	
18	単元や本時の初めに目標や学習の流れを示し、見通しを持って取り組めるようにしている	
19	授業の流れが分かるよう、板書の構成の工夫をしている	
20	導入では、興味・意欲・関心を高め、「学んでみたい」と思えるような工夫をしている	
21	展開では子供の理解に応じて自力解決ができるような手立てや教材・教具の準備をし、分かりやすく掲示している	
22	まとめでは「わかった」「できた」という満足感・達成感を実感できるような活動を工夫している	
No.	授業の形態	チェック
23	ねらいに応じて様々な学習形態の工夫をしている	
24	集中力に配慮した授業構成や学習活動を工夫している	
25	学び合いが主体的にできるように、その方法や役割分担等を明確に示している	
No.	個別の指導	チェック
26	全体指示では伝わりにくい子供には、個別に指示している	
27	学習に使う準備物を忘れがちな子供への配慮をしている（明確な指示や指導）	
28	書くことが苦手な子供への配慮をしている（時間の確保、板書の範囲を決める等）	
29	初級指導で、内容理解を確認したり、個に応じた指導や言葉かけをしたりしている	
No.	板書の工夫	チェック
30	授業の流れが分かるよう、板書の構成の工夫をしている	
31	チョークの色や字の大きさなど、子供の「見やすさ」という視点に立って板書している	
32	大切な点やポイントが分かるような板書をしている（ライン、枠囲み、矢印、記号等）	
No.	教材・教具等の工夫	チェック
33	ノートの取り方やファイル・プリントの整理の仕方等を指導している（モデルの提示等）	
34	提示する内容をより分かりやすくするための教材・教具の準備や工夫をしている（具体物、写真、絵、動画、ICT活用など）	
35	子供の発達段階や学び方に合わせた教材・教具の準備や工夫をして、子供が選択できるようにしている（プリントの種類【基礎・応用等】や大きさ、読みやすさ・書きやすさへの配慮、課題の量、道具・用具等）	
No.	座席の配置	チェック
36	子供の実態に合わせた座席の位置にしている	

※熊本県立教育センター「学びのUD化取組の視点（例）」（2014）から改変

教師側の目線だけではなく、子どもたちの目線で見ることがポイント！ここに示す以外の具体的な手だても考えてみましょう。

やってみよう！

学級・授業のUD化ハンドブック

釧路教育研究センター

本研究紀要はユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくり・学級づくりを進める上での参考となる実践事例集であり、多くの先生方に活用していただき、子供一人一人が「わかった、できた、楽しい」と感じられる授業が展開されることを期待しています。